Mikurensis (2017) Vol.6, pp. 25-30
–みくらしまの科学–

続々 御蔵島の鳥類目録

小木万布

一般社団法人御蔵島観光協会　〒100-1301 東京都御蔵島村　E-mail: kogi@mikura-isle.com

緒言

著者らは 2012 年, それまでに報告されていた御蔵島の鳥類観察記録を精査し，17 目 46 科 140 種の御蔵島鳥類目録を作成した（小木ら，2012）．その後，新たに加わった初記録と考えられる 17 種を 2016 年に報告した（小木, 2016）. 引き続き, 新たに観察のあった鳥類, 過去の調査記録が発見された鳥類を報告する.

材料及び方法

変わった鳥や，見たことがない鳥の目撃連絡を受けた際は，可能な限り写真撮影を試みた．写真がない場合でも，種名と発見場所，発見日時が報告されたものは，信頼に足る報告と判断した．鳥類の種判別には，フィールドガイド日本の野鳥増補改訂版（高野，2007）を用いた．また分類は日本鳥類目録改訂第 7 版に基づいた.

結果と考察

5 目 16 種を新たに記録した．御蔵島で観察記録のある鳥類は 174 種（うち外来種 3 種）となった．今回報告する 16 種のうち，7 種は御蔵島観光協会に寄せられた目撃連絡をもとに筆者が撮影したもの，4 種は，他の発見者が撮影するなどして報告されたものであった．また，過去に行われた調査記録を発見し記載したものが 5 種あった.

カモ目 ANSERIFORMES カモ科 Anatidae

○オオハクチョウ *Cygnus cygnus*

2016 年 10 月 31 日 15 時頃，桟橋で釣りをしていた泉文靖氏より連絡があった．御蔵島桟橋突端より沖に向かって進む本種 1 羽を撮影し，種判別ができた．筆者は，10 月 26 日の早朝に，黒田正道氏は午前中に桟橋で，種不明ハクチョウ 2 羽を目撃していた.

カツオドリ目 SULIFORMES カツオドリ科 Sulidae

○アカアシカツオドリ *Sula sula*

2017 年 4 月 26 日 14 時 30 分頃，広瀬敦氏がスサキ沖にて船上より観察，撮影．少し弱っていたようで，曳き縄中の船に着地し，そのまま 10 分ほど留まっていたとのこと．

撮影：広瀬敦

ペリカン目 PELEVANIFORMES サギ科 Ardeidae

○チュウダイサギ *Ardea alba modesta*

2016 年 4 月 13 日 12 時半頃，西川の砂防ダム下で 2 羽を観察，撮影した．オカダトカゲを補食していた．口角の位置が目より後まで切れ込んでいたことと，チュウサギと比較してサイズが大きいことから判別した．

チドリ目 CHARADRIIFORMES シギ科 Scolopacidae

○オオジシギ *Gallinago hardwickii*

2016 年 8 月 21 日 8 時頃と 14 時半頃，オオミズナギドリの調査中であった山階鳥類研究所の佐藤文男氏ら 3 名が黒崎高尾入口の芝生で確認した．朝，調査地に入る時と戻って来た時の 2 回とも同じ場所にいたとのこと．写真の個体は，2017 年 4 月 2 日 12 時過ぎ，エビネ公園手前で撮影した．

スズメ目 PASSERIFORMES サンショウクイ科 Campephagidae

○サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus*

2016 年 5 月 14 日，林道黒崎高尾線にて鈴木篤博氏が確認．写真はない．

スズメ目 PASSERIFORMES シジュウカラ科 Paridae

○ヒガラ *Periparus ater*

1994 年 11 月 3 日，山階鳥類研究所の標識調査で梶田学氏が里中にて性不明，齢不明 1 個体に足輪を装着（Ring No. 1A18796）．2013 年 2 月 16 日，昆虫調査で来島中であった愛媛大学の吉富博之氏がふれあい広場の松の木にて撮影．コゲラと一緒に観察された．

撮影：吉富博之

スズメ目 PASSERIFORMES ムシクイ科 Phylloscopidae

○センダイムシクイ *Phylloscopus coronatus*

1999 年 9 月 2 日，山階鳥類研究所の標識調査で梶田学氏が南郷にて性不明・幼鳥 1 羽に足輪装着（Ring No. 1B58356）.

スズメ目 PASSERIFORMES ヒタキ科 Muscicapidae

○アカハラ *Turdus chrysolaus chrysolaus*

1994 年 11 月 3 日，山階鳥類研究所の標識調査で梶田学氏が里中にて性不明・第 1 回冬羽 1 個体とオス・第 1 回冬羽 1 個体の計 2 個体に足輪装着（Ring No.4B40610 および 4B46011）. 梶田氏の野帳記録によれば，翌 4 日にも里中にて観察記録があった.

スズメ目 PASSERIFORMES ヒタキ科 Muscicapidae

○ルリビタキ *Cepphus carbo*

1995 年 3 月 5 日, 山階鳥類研究所の標識調査で梶田学氏がメス成鳥 1 羽に足輪装着（Ring No. 2G21365）. この個体は，同年 3 月 8 日に再捕獲されている. 1995 年 3 月 6 日にも，メス成鳥 1 羽に足輪装着（Ring No. 2G21372）.

スズメ目 PASSERIFORMES ヒタキ科 Muscicapidae

○サメビタキ *Pernis ptilorhynchus*

2016 年 5 月 19 日 11 時頃，林道黒崎高尾線，尾番の尾付近にて撮影. 頭上の枝を行ったり来たり，摂餌中のようであった.

スズメ目 PASSERIFORMES セキレイ科 Motacillidae

○イワミセキレイ *Falco subbuteo*

2016 年 5 月 14 日 12 時半頃, 林道黒崎高尾線幻の滝手前にて鈴木篤博氏が撮影した. 林道脇ガードロープの下から林道を横断して，山側法面に歩いて移動していた.

撮影：鈴木篤博

スズメ目 PASSERIFORMES セキレイ科 Motacillidae

○キタツメナガセキレイ *Motacilla flava macronyx*

2016 年 5 月 1 日, 御蔵島小中学校校庭にてホオアカ撮影中に前を横切る本種を発見．翌 2 日，追加撮影を試みるも発見できず．5 月 7 日 17 時半頃，再撮影に成功した．頭頂部が青灰色で白眉がないことから，亜種キタツメナガセキレイと断定した．

スズメ目 PASSERIFORMES セキレイ科 Motacillidae

○ホオジロハクセキレイ *Motacilla alba leucopsis*

2017 年 3 月 30 日, 御蔵島小中学校校庭にて岡奈理子氏, 稲村優一氏が発見．協会に情報提供があり，同日夕方に撮影した．

スズメ目 PASSERIFORMES アトリ科 Fringillidae

○シメ *Coccothraustes coccothraustes*

1994 年 11 月 2 日, 山階鳥類研究所の標識調査をされていた梶田学氏が里中で 1 羽観察．1996 年 11 月 9 日にも稲根神社拝殿脇にて 1 羽観察．写真はない．

スズメ目 PASSERIFORMES ホオジロ科 Muscicapidae

○ホオアカ *Emberiza fucata*

2016 年 5 月 1 日 11 時半頃，御蔵島小中学校校庭にて，ツグミに混ざって本種 1 羽を発見，撮影した．

○ミヤマホオジロ *Emberiza elegans*

2009 年 10 月 29 日時刻不明，山田明子氏が観察し，観光協会に情報提供があった. 写真は 2010 年 4 月 6 日 15 時頃, 里中の西の沢住宅付近にて高縄奈々氏が撮影したもの．

撮影：高縄奈々

考察

三宅島では外来種 2 種を含む 273 種の観察記録があり（大久保，2016），御蔵島の観察種数とは 100 以上の差がある．キジ目 1 種，カモ目 10 種，カイツブリ目 5 種，アビ目 2 種，

ミズナギドリ目 9 種，カツオドリ目 2 種，ペリカン目 7 種，ツル目 3 種，カッコウ目 1 種，アマツバメ目 2 種，チドリ目 26 種，タカ目 8 種，サイチョウ目 1 種，ブッポウソウ目 1 種，キツツキ目 1 種，ハヤブサ目 1 種，スズメ目 23 種の合計 102 種が御蔵島未報告であった．カモ科，チドリ科，シギ科で特に差が多かった．これらの科に含まれる鳥類の主な生息域は，水辺である．御蔵島には観察に適した池や浜辺が少ないことが，反映されているのだろう．今となっては三宅島で記録のあるウズラ *Coturnix japonica*（キジ目キジ科）やトキ *Nipponia nippon*（ペリカン目トキ科）が今後，御蔵島で観察される可能性はないだろうが，それ以外の種は本島に飛来していてもおかしくないものが多い．種を絞って，見られそうな時期や場所を重点的に調査できれば，観察種数は増やせるだろう．渡りの時期のマミチャジナイ *Turdus obscurus*，エゾビタキ *Muscicapa griseisticta*，夏期のクロツグミ *Turdus cardis*，冬期のオオジュリン *Emberiza schoeniclus* などは，記録が期待される．近年，冬期に桟橋でウミネコが群れを作っており，そこでセグロカモメ *Larus argentatus* の幼鳥も見られている．オオセグロカモメ *Larus schistisagus* が混ざっている可能性も高いと思われる．また，種未確認であるがフクロウ *Strix uralensis* ssp.と思われる目撃情報が 2 件あった．今回追加した 16 種のうち 5 種は記録漏れで，ほとんどは 1990 年代に行われた梶田学氏の調査によるものであった．きちんとした調査に基づく観察記録があったにもかかわらず，20 年以上の間，数回あったはずの編纂の機会をすり抜けていた．研究機関や個人の調査結果を逃さず島でも回収，集積ができるよう，今後も mikurensis 発行を始めとした発表機会を維持することが重要だろう．

謝辞

本報告は，情報提供がなければなし得ないものでした．今回目撃情報を寄せて下さった泉文靖氏，稲村優一氏，梶田学氏，黒田正道氏，鈴木篤博氏，高縄奈々氏，広瀬敦氏，広瀬節良氏，山田明子氏，愛媛大学の吉富博之氏，山階鳥類研究所の岡奈理子氏，佐藤文男氏に厚く御礼申し上げます．特に梶田氏は過去のフィールドノートから，これまでリストから漏れていた 5 種の報告に重要な情報をご提供下さいました．この場を借りてお礼申し上げます．また，いつも目撃情報を下さる村民の皆様に感謝致します．

引用文献

大久保香苗. 2016. 三宅島の鳥類目録の整理 日本鳥類目録改訂第 7 版以降の知見. Strix Vol. 32, pp. 217-237.

小木万布・広瀬節良・伊藤俊一．2012．御蔵島の鳥類目録．Mikurensis Vol. 1: 57-64

小木万布．2016．続 御蔵島の鳥類目録．Mikurensis Vol. 5: 25-31

日本鳥学会．2012．日本鳥類目録改訂第 7 版．日本鳥学会．東京．

高野伸二．2007．フィールドガイド日本の野鳥増補改訂版．財団法人日本野鳥の会発行．

別表：御蔵島鳥類目録　(2017年3月更新)

	キジ目	
1	ｷｼﾞ科	ｷｼﾞ
	カモ目	
2	ｶﾓ科	ﾏｶﾞﾝ
3		ｺﾊｸﾁｮｳ
4		ｵｵﾊｸﾁｮｳ
5		ｵｼﾄﾞﾘ
6		ﾖｼｶﾞﾓ
7		ﾋﾄﾞﾘｶﾞﾓ
8		ﾏｶﾞﾓ
9		ｶﾙｶﾞﾓ
10		ｵﾅｶﾞｶﾞﾓ
11		ｺｶﾞﾓ
12		ｷﾝｸﾛﾊｼﾞﾛ
13		ｼﾉﾘｶﾞﾓ
14		ﾋﾟｰﾄﾞｷﾝｸﾛ
	ネッタイチョウ目	
15	ﾈｯﾀｲﾁｮｳ科	ｱｶｵﾈｯﾀｲﾁｮｳ
16		ｼｵﾈｯﾀｲﾁｮｳ
	ハト目	
17	ﾊﾄ科	ｶﾗｽﾊﾞﾄ
18		ｷｼﾞﾊﾞﾄ
19		ｱｵﾊﾞﾄ
	ミズナギドリ目	
20	ｱﾎｳﾄﾞﾘ科	ｺｱﾎｳﾄﾞﾘ
21		ｸﾛｱｼｱﾎｳﾄﾞﾘ
22	ﾐｽﾞﾅｷﾞﾄﾞﾘ科	ｼﾛﾊﾗﾐｽﾞﾅｷﾞﾄﾞﾘ
23		ｵｵﾐｽﾞﾅｷﾞﾄﾞﾘ
24		ﾊｼﾎﾞｿﾐｽﾞﾅｷﾞﾄﾞﾘ
25	ｳﾐﾂﾊﾞﾒ科	ｵｰｽﾄﾝｳﾐﾂﾊﾞﾒ
	カツオドリ目	
26	ｸﾞﾝｶﾝﾄﾞﾘ科	ｵｵｸﾞﾝｶﾝﾄﾞﾘ
27	ｶﾂｵﾄﾞﾘ科	ｱｵﾂﾗｶﾂｵﾄﾞﾘ
28		ｱｶｱｼｶﾂｵﾞﾄﾞﾘ
29		ｶﾂｵﾄﾞﾘ
30	ｳ科	ｳﾐｳ
	ペリカン目	
31	ｻｷﾞ科	ﾖｼｺﾞｲ
32		ｵｵﾖｼｺﾞｲ
33		ﾐｿﾞｺﾞｲ
34		ｺﾞｲｻｷﾞ
35		ｱｶｶﾞｼﾗｻｷﾞ
36		ｱﾏｻｷﾞ
37		ｱｵｻｷﾞ
38		ﾁｭｳﾀﾞｲｻｷﾞ
39		ﾁｭｳｻｷﾞ
40		ｺｻｷﾞ
41		ｸﾛｻｷﾞ
42	ﾄｷ科	ｸﾛﾄｷ
	ツル目	
43	ｸｲﾅ科	ｸｲﾅ
44		ﾋｸｲﾅ
45		ﾂﾙｸｲﾅ
46		ｵｵﾊﾞﾝ
	カッコウ目	
47	ｶｯｺｳ科	ﾎﾄﾄｷﾞｽ
48		ﾂﾂﾄﾞﾘ
49		ｶｯｺｳ
	ヨタカ目	
50	ﾖﾀｶ科	ﾖﾀｶ
	アマツバメ目	
51	ｱﾏﾂﾊﾞﾒ科	ｱﾏﾂﾊﾞﾒ

日本鳥類目録にある外来種

ｷｼﾞ目	ｺｼﾞｭｹｲ
ﾊﾄ目	ｶﾜﾗﾊﾞﾄ(ﾄﾞﾊﾞﾄ)

	チドリ目	
52	ﾁﾄﾞﾘ科	ﾑﾅｸﾞﾛ
53		ｺﾁﾄﾞﾘ
54		ｵｵﾒﾀﾞｲﾁﾄﾞﾘ
55	ｾｲﾀｶｼｷﾞ科	ｾｲﾀｶｼｷﾞ
56	ｼｷﾞ科	ﾔﾏｼｷﾞ
57		ｱｵｼｷﾞ
58		ｵｵｼﾞｼｷﾞ
59		ﾁｭｳｼｬｸｼｷﾞ
60		ｱｵｱｼｼｷﾞ
61		ｸｻｼｷﾞ
62		ﾀｶﾌﾞｼｷﾞ
63		ｷｱｼｼｷﾞ
64		ｲｿｼｷﾞ
65		ｷｮｳｼﾞｮｼｷﾞ
66		ｱｶｴﾘﾋﾚｱｼｼｷﾞ
67	ﾂﾊﾞﾒﾁﾄﾞﾘ科	ﾂﾊﾞﾒﾁﾄﾞﾘ
68	ｶﾓﾒ科	ｸﾛｱｼﾞｻｼ
69		ﾐﾂﾕﾋﾞｶﾓﾒ
70		ﾕﾘｶﾓﾒ
71		ｳﾐﾈｺ
72		ｶﾓﾒ
73		ｾｸﾞﾛｶﾓﾒ
74		ｺｱｼﾞｻｼ
75		ﾍﾞﾆｱｼﾞｻｼ
76	ﾄｳｿﾞｸｶﾓﾒ科	ｼﾛﾊﾗﾄｳｿﾞｸｶﾓﾒ
77	ｳﾐｽｽﾞﾒ科	ｹｲｱﾌﾘ
78		ｶﾝﾑﾘｳﾐｽｽﾞﾒ
	タカ目	
79	ﾐｻｺﾞ科	ﾐｻｺﾞ
80	ﾀｶ科	ﾊﾁｸﾏ
81		ﾄﾋﾞ
82		ｵｼﾞﾛﾜｼ
83		ﾂﾐ
84		ﾊｲﾀｶ
85		ｵｵﾀｶ
86		ｻｼﾊﾞ
87		ﾉｽﾘ
88	ﾌｸﾛｳ科	ｵｵｺﾉﾊｽﾞｸ
89		ｱｵﾊﾞｽﾞｸ
90		ｺﾐﾐｽﾞｸ
	サイチョウ目	
91	ﾔﾂｶﾞｼﾗ科	ﾔﾂｶﾞｼﾗ
	ブッポウソウ目	
92	ｶﾜｾﾐ科	ｱｶｼｮｳﾋﾞﾝ
93		ﾔﾏｼｮｳﾋﾞﾝ
94		ｶﾜｾﾐ
	キツツキ目	
95	ｷﾂﾂｷ科	ｱﾘｽｲ
96		ｺｹﾞﾗ(ﾐﾔｹｺｹﾞﾗ)
	ハヤブサ目	
97	ﾊﾔﾌﾞｻ科	ﾁｮｳｹﾞﾝﾎﾞｳ
98		ﾁｺﾞﾊﾔﾌﾞｻ
99		ﾊﾔﾌﾞｻ
	スズメ目	
100	ｻﾝｼｮｳｸｲ科	ｻﾝｼｮｳｸｲ
101	ｶｻｻｷﾞﾋﾀｷ科	ｻﾝｺｳﾁｮｳ
102	ﾓｽﾞ科	ﾓｽﾞ
103	ｶﾗｽ科	ﾐﾔﾏｶﾞﾗｽ
104		ﾊｼﾎﾞｿｶﾞﾗｽ
105		ﾊｼﾌﾞﾄｶﾞﾗｽ
106	ｷｸｲﾀﾀﾞｷ科	ｷｸｲﾀﾀﾞｷ
107	ｼｼﾞｭｳｶﾗ科	ﾔﾏｶﾞﾗ(ｵｰｽﾄﾝﾔﾏｶﾞﾗ)
108		ﾋｶﾞﾗ
109		ｼｼﾞｭｳｶﾗ

110	ﾋﾊﾞﾘ科	ﾋﾊﾞﾘ
111	ﾂﾊﾞﾒ科	ｼｮｳﾄﾞｳﾂﾊﾞﾒ
112		ﾂﾊﾞﾒ
113		ｺｼｱｶﾂﾊﾞﾒ
114		ｲﾜﾂﾊﾞﾒ
115	ﾋﾖﾄﾞﾘ科	ﾋﾖﾄﾞﾘ
116	ｳｸﾞｲｽ科	ｳｸﾞｲｽ
117		ﾔﾌﾞｻﾒ
118	ﾑｼｸｲ科	ｴｿﾞﾑｼｸｲ
119		ｾﾝﾀﾞｲﾑｼｸｲ
120		ｲｲｼﾞﾏﾑｼｸｲ
121	ﾒｼﾞﾛ科	ﾒｼﾞﾛ(ｼﾁﾄｳﾒｼﾞﾛ)
122	ｾﾝﾆｭｳ科	ｳﾁﾔﾏｾﾝﾆｭｳ
123	ﾖｼｷﾘ科	ｵｵﾖｼｷﾘ
124	ﾚﾝｼﾞｬｸ科	ｷﾚﾝｼﾞｬｸ
125		ﾋﾚﾝｼﾞｬｸ
126	ﾐｿｻｻﾞｲ科	ﾐｿｻｻﾞｲ(ﾓｽｹﾐｿｻｻﾞｲ)
127	ﾑｸﾄﾞﾘ科	ｷﾞﾝﾑｸﾄﾞﾘ
128		ﾑｸﾄﾞﾘ
129		ｺﾑｸﾄﾞﾘ
130	ﾋﾀｷ科	ﾏﾐｼﾞﾛ
131		ﾄﾗﾂｸﾞﾐ
132		ｼﾛﾊﾗ
133		ｱｶﾊﾗ
134		ｱｶｺｯｺ
135		ﾂｸﾞﾐ
136		ｺﾏﾄﾞﾘ(ﾀﾈｺﾏﾄﾞﾘ)
137		ﾉｺﾞﾏ
138		ｺﾙﾘ
139		ﾙﾘﾋﾞﾀｷ
140		ｼﾞｮｳﾋﾞﾀｷ
141		ﾉﾋﾞﾀｷ
142		ｲｿﾋﾖﾄﾞﾘ
143		ｻﾒﾋﾞﾀｷ
144		ｺｻﾒﾋﾞﾀｷ
145		ｷﾋﾞﾀｷ
146		ｵｵﾙﾘ
147	ｽｽﾞﾒ科	ｽｽﾞﾒ
148	ｾｷﾚｲ科	ｲﾜﾐｾｷﾚｲ
149		ｷﾀﾂﾒﾅｶﾞｾｷﾚｲ
150		ｷｾｷﾚｲ
151		ﾊｸｾｷﾚｲ
152		ﾎｵｼﾞﾛﾊｸｾｷﾚｲ
153		ｾｸﾞﾛｾｷﾚｲ
154		ﾋﾟﾝｽﾞｲ
155		ﾑﾈｱｶﾀﾋﾊﾞﾘ
156		ﾀﾋﾊﾞﾘ
157	ｱﾄﾘ科	ｱﾄﾘ
158		ｶﾜﾗﾋﾜ
159		ﾏﾋﾜ
160		ﾍﾞﾆﾏｼｺ
161		ｲｽｶ
162		ｳｿ
163		ｼﾒ
164		ｲｶﾙ
165	ﾎｵｼﾞﾛ科	ﾎｵｼﾞﾛ
166		ﾎｵｱｶ
167		ｶｼﾗﾀﾞｶ
168		ﾐﾔﾏﾎｵｼﾞﾛ
169		ﾉｼﾞｺ
170		ｱｵｼﾞ
171		ｸﾛｼﾞ

日本鳥類目録にない種

ｵｳﾑ目	ﾙﾘｺﾝｺﾞｳ